

日野市立教育センター一報

# 教育センターだより

第36号 平成27年6月15日発行



## 日野市立教育センター

〒191-0042

日野市程久保550

TEL 042-592-0505

FAX 042-592-1148

開館時間 午前8時30分  
～午後5時15分



平成27年5月15日

第1回

教育センター 運営審議会の様子



## 現場の教育実践に役立つ教育センターに

所長 松澤 茂久

昨年3月、文科省の中央教育審議会への諮問に先駆けて、日野市は新しい時代にふさわしい教育の在り方について、「第2次日野市学校教育基本構想」を策定しました。そこでは、①21世紀を切りひらく力、②次代をつくる特色ある学校づくり、③つながりによる教育、という3つの基本方針が柱になっていますが、平成27年度の日野市教育委員会の主要な取り組みを見ると、教育センターの活動が全てこの3つの柱の中に含まれています。当センターは、今までも「教育のまち日野」の「地域と共につくる基本と先進の教育」の一翼を担う機関としての自負をもって活動してまいりましたが、改めて、今後共果たすべき責務は大きいと思っています。

一方で、センターは、施設設備が老朽化したり、都教委の退職管理職・教員の学校現場配置方針により、所員数の削減を余儀なくされるなど、やや先行き不透明な部分も抱えています。しかし、こういう時ほど足元をしっかりと見据え、やるべきことを着実に実行し、より現場に役立つ教育センターであらねばならないと認識しています。平成27年度も以下の3事業を実施し、より充実した活動となりますよう所員一同力を合わせてまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

調査研究部門では、本年度も、学校現場や関係機関等と連携しつつ、よりよい授業実践や教材開発ができるよう、「理科教育」、「郷土教育」の研究に継続して取り組みます。また、「ひのっ子教育21開発委員会」の研究(今年度は英語科における小・中・高連携)を補佐し、各学校の活発な校内研究と相まって、「授業研究の日野」を支え、推進します。

研修部門では、教育センターの専門スタッフの力を活かして、若手教員について実際の授業に即した個別指導を行い、授業力向上の力添えをします。その際には「授業観察のためのガイドライン」に沿って学校と共通認識で指導に当たります。また、教育委員会が実施する各種教員研修が円滑に実施できるように協力していきます。

相談部門は、「学校生活相談」と「わかば教室」に分かれます。前者では学校生活上の問題、不登校に関することなどで悩み・課題を抱える子どもたちの相談や支援、資料提供を行います。わかば教室では、不登校の子どもたちの学ぶ場としてeラーニングを含め、子どもたちの実情に即して学習や進路等を一緒に考え支援していきます。また、登校支援コーディネーターが「発達・教育支援センター」のスクールソーシャルワーカーと連携して登校支援を行います。

教育センターの事業内容については、webサイトでの紹介に加え、「教育センターだより」、「教育センター紀要」、「郷土日野指導事例集」などの刊行物も発行していますので、ご一読いただければ幸いです。また、市内の研究校の研究紀要なども電子ファイル化して公開していますのでご活用ください。

# I 調査研究部

調査研究部では、日野市の当面する教育課題である「理科教育推進の研究」「郷土教育推進の研究」の推進、日野市教育委員会事業「ひのっ子教育 2 1 開発委員会研究」の支援を関係機関のご協力の下、進めています。以下、年間計画のあらましをお知らせします。

## 1 理科教育推進の研究（理科教育推進研究委員会）

教科等教育係

### ひのっ子が主体となる理科教育を目指して

第2次日野市学校教育基本構想では、基本方針1で子どもに「自ら課題を発見し、考え、判断し、よりよく解決する確かな学力の育成」が求められ、基本方針2では指導する教師に「子どもたちが主体となる魅力ある授業デザイン」が求められています。

一方、小学校では理科の授業を得意としない教員も多く、理科授業の指導力向上も課題です。

本年度は研究テーマを「ひのっ子が主体となる理科教育」とし、子どもが進んで取り組む理科の授業への改善や学校・教員をサポートする「理科支援センター」のあり方を実践的に研究します。また、理科に関する研究活動等への支援・協力、諸機関との連携や日野の自然の教材化を進めます。

#### (1) 研究の目的

①学校・教員が実践する理科教育への支援を行う。

- ・理科学習における学校や教員への支援
- ・教材・教具の提供と貸出
- ・デジタル教材等、ICTを活用した授業の推進
- ・理科に関する情報の発信
- ・理数授業特別プログラム、小・中教研との連携・協力

②理科の指導力向上を目指して、研修の充実を図る。

理科ワークショップ・外部の諸機関を活用した研修

③諸機関との連携と日野の自然の教材化を進める。

- ・日野の自然の掘り起こしと教材化の推進
- ・諸機関等との連携

#### (2) 研究の方法

①学校や教員の理科学習を支援のための「理科支援センター」のあり方を実践的に検討する。

②子どもが主体的に活動する理科授業を目指し、充実した研修の実施について検討する。

③諸機関との連携や日野の自然の教材化について検討する。

#### (3) 組織・運営

委員長・副委員長：小・中学校校長会代表者

委員：小・中学校副校長会代表者、理科教育の有識者、元 CST 専属理科支援員、CST 及び理科ワークショップ講師、小・中教研理科部長及び部長経験者、理科担当指導主事、教育センター所員

#### (4) 活動日程

①理科教育推進研究委員会・・・年間5回を予定

②研修会等 6月10日（水）午後：小・中連携の理科授業(中学校の授業)

7月29日（水）全日：理科実技研修(午前・小学校教諭対象の初任研)

7月31日（金）全日：理科実技研修・富士電機株式会社

8月24日（月）全日：昆虫スキルアップ研修・多摩動物公園

8月26日（水）午後：「電気の利用」研修会 日本電機工業会・平山小学校

9月 9日（水）午後：小・中連携の理科授業(小学校の授業)

CST 及び理科ワークショップ講師を活用した小学校理科実技研修会：月1回実施

## 2 郷土教育推進の研究（郷土教育推進研究委員会）

ふるさと教育係

### ～日野の歴史・自然・文化・産業・人を授業で活用する～

日野市は「第2次学校教育基本構想」を策定し、グローバル化や少子高齢化、高度の情報化をはじめ、急激に社会状況が変化する21世紀をたくましく生きていけるように、「21世紀を切りひらく力」「次代をつくる特色ある学校づくり」「つながりによる教育」の3つの基本方針に基づき、12の主な項目が取り上げられています。中でも「つながりによる教育」においては「郷土や日本の伝統文化を学び、ふるさと日野を愛し、すすんで地域・社会とかかわるひのっ子を育てる」「地域の自然や歴史を教材とした郷土教育を推進し、体験を通して、子供たちの興味や創造性、感性を豊かに育む」ことが取り組みとして掲げられています。

郷土教育推進研究委員会では、以上の課題を受けて、郷土の特色やよさを知り、郷土に対する誇りと愛着をもった「ひのっ子」の育成に取り組んでいます。研究の成果を毎年、「郷土日野」指導事例集としてまとめ、現在第10集まで発行しています。日野市立教育センターのホームページで見られますので、是非一度開いて下さい。今後、郷土教材が、ますます幼稚園、小中学校の授業に活かされるとともに、家庭でも教材とした地域を訪ね、家族で日野のよさを再発見していただけることを心より願っています。

#### ① 目的

幼稚園・小学校・中学校における郷土教育のあり方を追究し、日常の授業に生かす実践的な研究を推進する。ふるさと日野に誇りと愛着を持つ『ひのっ子』を育成するため、「郷土意識を育む指導のあり方－郷土の歴史・自然・文化・産業・人の教材化を通して－」を主題とした研究を行う。

##### ア 郷土教育が育む児童像・生徒像

○郷土の歴史、自然、文化、産業、人を理解し、先人への感謝の心をもった ひのっ子

○郷土の特色やよさに気付き、継承、発展を願い、行動する ひのっ子

○郷土の一員として自覚と誇りをもち、仲間や郷土の人々と協働できる ひのっ子

○郷土の未来の姿を思い描き、よりよい郷土の実現について思考できる ひのっ子

##### イ 学校教育における郷土教育の定着化をめざす。

○郷土の歴史・自然・文化・人の教材化の意図を明確にする。

○郷土の特色やよさ、変遷や変化、人の生き方がよくわかる郷土教材を収集・開発する。

○郷土教材を活用した指導計画・実践例を提示する。

#### ② 内容及び方法

ア 「日野」の郷土教材の収集・開発、および授業実践を行う。

イ 郷土教材を活用した指導計画の作成や授業展開の工夫、副読本や郷土関連資料の活用を工夫し学習指導法の研究を行う。

ウ 「郷土資料館」「新選組のふるさと歴史館」「中央図書館」「公民館」等の関係諸機関の連携・協力した授業を推進する。

エ フィールドワークと実践事例発表を中心とした夏季郷土教育研修会を実施し、郷土教育を推進できる指導者を育成する。

オ 研究の成果を「郷土日野 指導事例集11集」としてまとめる。また、電子データ（PDFファイル）化し、教育センターホームページより利用できるようにする。

#### ③ 運営組織

市内幼稚園・小学校教員、「郷土資料館」「新選組のふるさと歴史館」「中央図書館」等の関係職員、学識経験者、教育委員会指導主事、教育センター所員で郷土教育推進委員会を組織し調査研究を行う。

### 3 ひのっ子教育21開発委員会

基礎調査研究係

「外国語活動・外国語（英語）科における

#### 『 魅力ある授業づくりプロジェクト 』の研究

#### （1）主 旨

新学習指導要領では、児童・生徒が主体的に学び、生きる力の育成、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランス、言語活動の充実などが求められています。

この趣旨を受けて、日野市教育委員会では、平成24年度から、魅力ある授業力づくりプロジェクトを立ち上げ、感じ、考え、表現するひのっ子が育つ、魅力ある授業の創造を目指しています。今年度のひのっ子教育21開発委員会の研究テーマを「外国語活動・外国語（英語）科における魅力ある授業づくりプロジェクト」として、研究に取り組むことになりました。

#### （2）研究の内容

小・中・高の連携を図り、ひのっ子の学習意欲の向上と基礎的・基本的な知識・技能の定着、思考力・判断力・表現力等を育成する魅力ある授業づくりを目指し、よりよい授業モデルを提案していきます。

- 小学校中学年での外国語活動、高学年での教科化等、学習指導要領改訂を見据え、これからの日野市における英語教育の方向性を検討する。
- 第2次日野市学校教育基本構想における「自ら課題を発見し、考え、判断し、よりよく解決する確かな学力の育成」に基づく効果的な指導法を検討する。
- 外国語（英語科）教育における授業実践研究及び提言（指導と評価の工夫）を行う。
- 小・中・高における外国語（英語）の連続性や系統性について検討する。
- ALTを活用した効果的な授業の在り方について提案する。

#### （3）研究の方法

日野市公立小学校・中学校、市内都立高校から、選出された教員が、英語の授業実践を通して、魅力ある授業づくりの研究開発を2年間実施します。その成果を、市内の小・中・高等学校の児童・生徒の学力向上に役立てます。

#### 英語科の研究テーマ

「小学校外国語活動と中学校外国語・高等学校外国語の円滑な接続」

#### （4）組 織

中学校校長 1名、 高等学校長 1名、 中学校副校長 1名、 小学校副校長 1名  
開発委員 小学校教員 4名、 中学校教員 4名、 高等学校教員 2名

## Ⅱ 研 修 部

### 1 教員の研修

教職員研修係

#### (1) 若手教員育成研修

##### ① 1年次若手教員（小学校21名、中学校22名 計43名）

年3回、初任者のいる学校を所員が訪問し、授業観察及び指導を行います。指導の観点は、学習指導案が適切に作成されているか、教材に対する理解が十分にあるか、説明や発問が的確で分かりやすいか、板書が丁寧で、計画的なものであるか、児童・生徒と良好なコミュニケーションがとれているかなどの点で、担当所員は、よかった点や課題を示し、次の授業に向け、改善策を話し合いながら若手教員の指導にあたります。1年目の教員として身につけるべき基礎的・基本的な知識・技能の習得を行うべく、指導、助言を行っていきます。



##### ② 2年次及び3年次若手教員（2年次 小13名、中14名計27名 3年次 小17名、中6名計23名）

年1回、2年次及び3年次若手教員のいる学校を所員が訪問し、授業観察及び指導を行います。2年次教員に対して担当所員は、1年次における研修の成果と課題を踏まえ、授業評価を通して、改善策等を具体的に指導していきます。教科指導における生活指導のありかたにも触れ、より実践的な指導力をつけるためのアドバイスもしていきます。



3年次教員には、課題解決的、より実践的な授業を行うように、そして、児童・生徒の疑問や要求にも多面的に対応できる力をつけていけるようアドバイスをしていきます。また、外部との連携や学校の組織的な動きにも触れながら指導助言にあたっていきます。

##### ③ 夏季研修（2年次・3年次）

8月27日に日野第一中学校を会場にして2年次が午前、3年次が午後と、半日単位で若手教員育成研修が開催される予定です。研修会では、2年次教員、3年次教員ともにグループに分かれ、各自が一学期に実践した指導事例を発表し、授業展開の方法や教材教具の工夫、改善すべき課題等についてグループ協議を行い、授業改善につながる魅力ある授業づくりを目指します。

担当所員は、午前と午後の一日、グループ協議に参加し、発表事例の授業や児童・生徒理解の悩み等について指導助言を行います。

#### (2) 教育委員会主催研修会への協力

教育委員会が主催する研修会で、主に教育センターで行われる研修会や夏季休業中に市民会館で開催される教科専門研修（小・中学校の全教員対象）の受付等の準備を行います。また、夏季休業中に実施される人権教育、外国語活動、特別支援教育、理科実技、昆虫スキルアップ、郷土教育、教育相談の各研修会にも支援業務を行います。

### Ⅲ 相 談

日野市立教育センターの相談部の一般教育相談係は、平成26年の4月より日野市発達・教育支援センター（「エール」）に移転しました。現在、学校生活相談係が「適応指導教室（わかば教室）」の運営と「学校生活相談」を行なっています。

## 学 校 生 活 相 談

### 1. 適応指導（わかば）教室【学校生活相談係】

学校生活相談係は、学校生活における精神的な悩み、人間関係でのストレス、登校しぶり、不登校、児童・生徒の心理的、又は環境をめぐる問題に関しての相談や支援、健全育成に関する資料提供や助言を行います。具体的な活動は次の通りです。

#### (1) 相談活動

学校生活上の問題や不登校に関する相談、「適応指導（わかば）教室」に入室している児童・生徒への計画的・継続的な個別面談を実施する

#### (2) 「適応指導（わかば）教室」通室児童・生徒への支援

安心して過ごせる学びの場づくり、及び児童・生徒に応じた社会的体験や学習活動の支援を通して、社会的自立や基礎学力の定着を図り学校復帰への支援を行なう

#### (3) 登校支援

学校訪問（年1回以上）、学校及び保護者との相談を実施する

#### (4) 学校・家庭・地域との連携

適応指導教室連絡会、活動状況報告の送付、保護者面談・保護者会・授業参観、わかば通信の発行、地域ネットワーク連絡会、スクールカウンセラー連絡会、地域を生かした体験活動

教育センター所員4名、カウンセラー2名（毎日1名、週5日）、指導員4名の10名のスタッフで業務に当たっています。「適応指導（わかば）教室」の学習・生活全般にわたって、学生ボランティアの協力があります。教育センター3階が学校生活相談係のフロアとなっています。

「適応指導（わかば）教室」（連絡先 ☎ 042-592-0863 FAX 042-592-1148）

「適応指導（わかば）教室」では、不登校児童・生徒や登校しぶり児童・生徒の支援をします。具体的には、「わかば教室」に通室する児童・生徒が安定した心理状況で過ごせる学びの場であり、学校復帰を目指す場であるように努めます。そのうえで好ましい人間関係、集団への適応能力、学習への意欲、基礎学力定着、社会性や自立心の育成を目指し、個別あるいは少人数による指導・支援・相談をします。 ※ 入室を希望される方、内容を知りたい方はお気軽にご相談ください。



春の遠足（多摩動物公園）

#### ◇ 「わかば教室」の一日

朝の会（9:20）で始まり、学習タイム（国語・社会・算数・数学・理科・英語・eラーニングを中心に個に応じた学習指導）、わかばタイム（曜日毎に、栽培・スポーツ・図工・音楽・作文）、ミーティング、個別面接（計画的・継続的なカウンセリング）の時間割を組んで実施し、帰りの会（小14:15、中14:35）で終わります。

週1回はスタッフの話し合いの時間を設け、子供一人一人の状況に応じた個別支援を検討し、支援に当たります。触れ合いを大切にし、特に昼休みは皆でスポーツを楽しんでいます。

### ◇「わかば教室」の行事

遠足、お茶会、誕生日会、スポーツ大会、収穫祭、夏休みの通室日、地域の奉仕活動(老人ホーム訪問等)、社会科見学、図書館訪問、音楽鑑賞教室、音楽会、書初め、卒業・進級を祝う会等感動体験を実施しています。これらの行事を通して、自らの良さや存在の大切さへの気づきの学習や、定期的に行うカウンセリングで情緒を安定させ、子供たちが自信を取り戻すことができるように支援しています。

## 2. 「e-ラーニング」を活用した学習支援

登校支援員

不登校児童・生徒のために、教育センターでは、e-ラーニングを活用した学習支援を ICT 活用教育推進室と協力して実施しています。

### (1) 「わかば教室」に通室している児童・生徒のための学習支援：e-ラーニング

わかば教室に通室している児童・生徒に対して、わかば教室学習活動時間を利用し、児童・生徒の学習支援や学校復帰への援助を図ります。

#### ① 内容

- ・学習時間：固定時間割 月：学習タイム1→中学生 学習タイム2→小学生  
水：学習タイム1→小学生 学習タイム2→中学生

- ・活動場所：教育センター2階パソコン室

※わかば教室見学者は、e-ラーニング学習時間（月、水曜日）に体験学習をすることが可能です。事前に時間等をわかば教室を通して、e-ラーニング担当者に確認してください。

### (2) わかば教室に通室できない児童・生徒のための学習支援：e-ラーニング

さまざまな理由からわかば教室にも通室できず、長期間の欠席状況にある、またはそのような傾向にある児童・生徒に対して、居場所（わかば教室 e-ラーニング学習室[教育センター3階]）で学習できる機会を設定し、児童・生徒の学習支援や学校復帰への援助を図ります。

#### ① 内容

- ・学習時間：水曜日（わかば教室通室生下校時刻後 ☆午後2時～4時）
- ・活動場所：わかば教室 e-ラーニング学習室

※事前に調整が必要ですので、学校を通してわかば教室登校支援員に確認してください。

## 3. 登校支援コーディネーター

日野サンライズプロジェクト（日野市教育委員会基本方針2に位置づけ）のめざすところをふまえ、小・中学校やわかば教室（適応指導教室）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、の関係機関等との連携を図りながら、不登校状態にある児童・生徒の学校への復帰につながる支援を行う。

○適応状況調査の集約・分析、支援策の検討

○生活指導主任研修会や諸連絡会への適応状況調査集約・分析結果等の情報提供

○学校訪問（相談・助言・ケース会議への参加等）

○関係機関との連携（日野市発達・教育支援センター〈エール〉、子ども家庭支援センター等）

○適応指導教室「わかば教室」との連携

○その他、必要に応じて不登校児童・生徒の支援につながること

# 教育資料・広報係より

## 教育センター・教育資料室のご案内

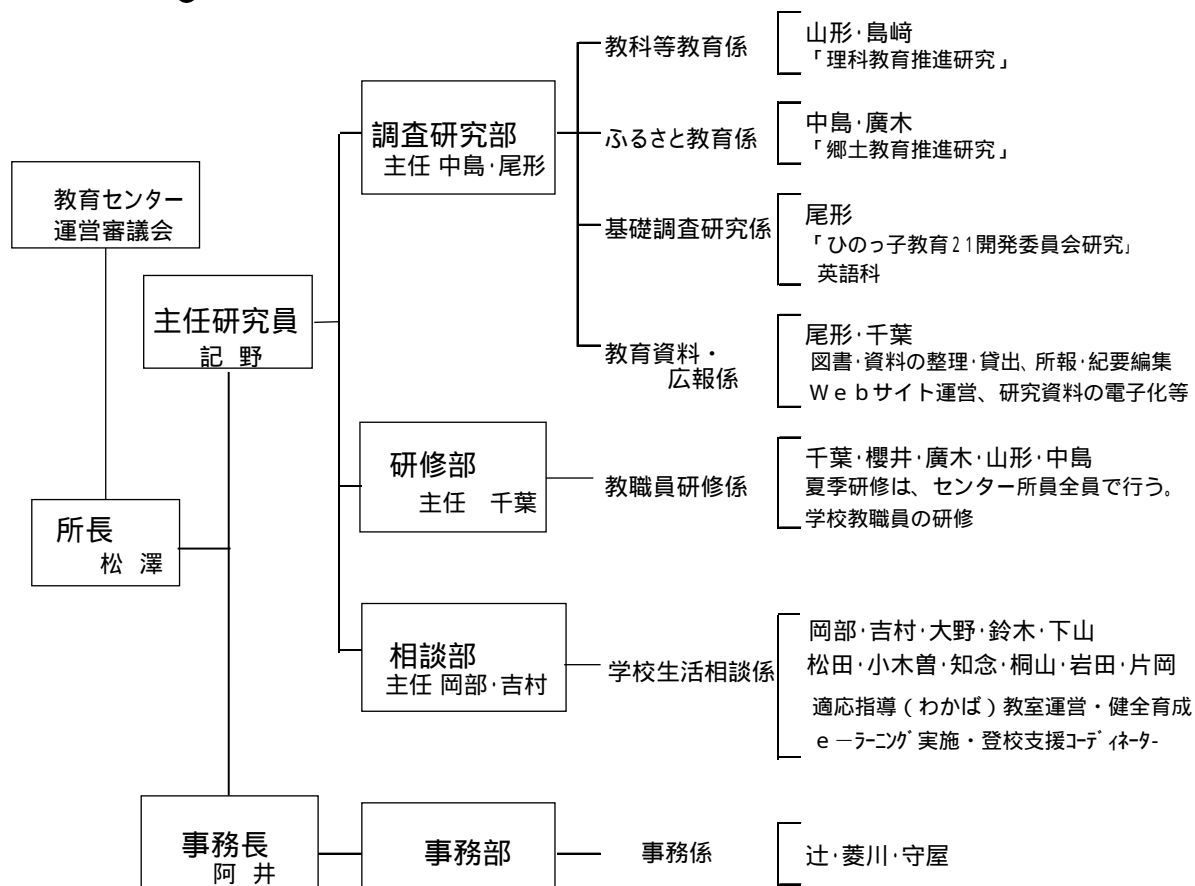
教育センターの教育資料室は、日野市内幼稚園・小学校・中学校の教員の皆さんが、日頃の教育・指導の充実、教育研究の推進に役立つようにとの目的で設置されています。市民の皆さんも利用することができます。また、教員の皆さんは、市役所内交換便による貸し出しの制度を使ってセンター外で利用することもできます。下記をご覧ください、ぜひご活用いただくようご案内いたします。

- 1 閲覧資料 総資料数 4800点
  - ・教育関係の専門図書資料 国語大辞典などの専門辞典
  - ・各社の教科書（小学校：昭和61年～、中学校：昭和56年～）
  - ・日本教育新聞、内外教育（時事通信、平成13年～）
  - ・初等教育資料（文科省）、中等教育資料（文科省）教育時報（都教育委員会）
  - ・市内小中学校の校内研究集録 郷土教育資料 日野市関係の資料
  - ・AV教材（DVD、CD-ROM、VHSビデオテープ） 他
- 2 閲覧時間 月～金曜、9時～17時
- 3 閲覧場所 センター3階図書室 （2階の事務室でお声がけをしてください）
- 4 貸し出し お気軽に教育図書・資料係へご連絡ください。（教員のみ）
- 5 校務支援メール、電話による貸し出しの方法について
  - ①各小中学校図書室のパソコンには、図書館管理システム（探調ツール：指導で通常使われるシステム）の他に、「横断検索システム」というアイコンがあります。
  - ②「横断検索システム」を使いますと、他校の図書だけでなく、教育センターにあるほとんどの教育資料を検索することができます。
  - ③このシステムで確認した必要な資料がありましたら、当センターの教育資料・広報係へ、校務支援メールか、電話で連絡ください。
  - ④貸し出しの図書は交換便でお送りします。なお、交換便では、AV資料などはお送りできませんので、センターにお出でいただくか、ご依頼いただければお届けします。

## 教育センター・広報の刊行物のご案内

- ・教育センター紀要 一年間の調査研究事業、研修部、相談部で行った事業のまとめ
  - ・教育センターだより 日頃のセンター活動の状況についての広報紙。年間3回の発行
- いずれのバックナンバーを、当センターWebサイトでご覧いただくことができます。

# 平成27年度教育センター組織図



## 教育センターWebサイトのご案内

- ・センターでは、広報活動の一つとしてWebサイトを開設しております。教育センターの活動の様子を画面上でご覧いただけます。今までの活動の積み重ねをPDFファイルなどで見ることが出来ます。また、郷土教育を進めるために作成された「郷土教育指導事例」などの冊子も見ることができます。



下記のアクセス方法から試していただき、教育センターのWebサイトをご覧ください。

1. 検索サイトから「日野市教育センター」を検索する。
2. 「日野市役所」又は「ICT活用教育推進室」のメニューから入る。

\* インターネットアドレス (url) [www.hino-ky.ed.jp/center/](http://www.hino-ky.ed.jp/center/)